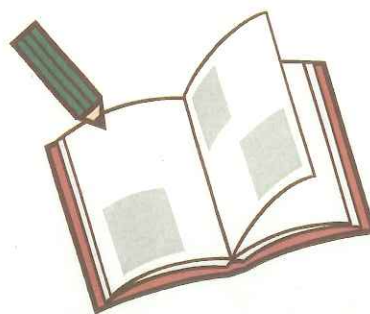


『家庭学習のすすめ』 行田版モデル

めざせ 家庭学習の達人

か て い が く し ゅ う
家庭学習のすすめ



ぎょうだしりつ
行田市立

ねん
年

くみ
組

がっこう
学校
なまえ
名前

おうちの方^{かた}といっしょに^よ読んで、家庭学習^{かていがくしゅう}の達人^{たっじん}をめざしましょう。

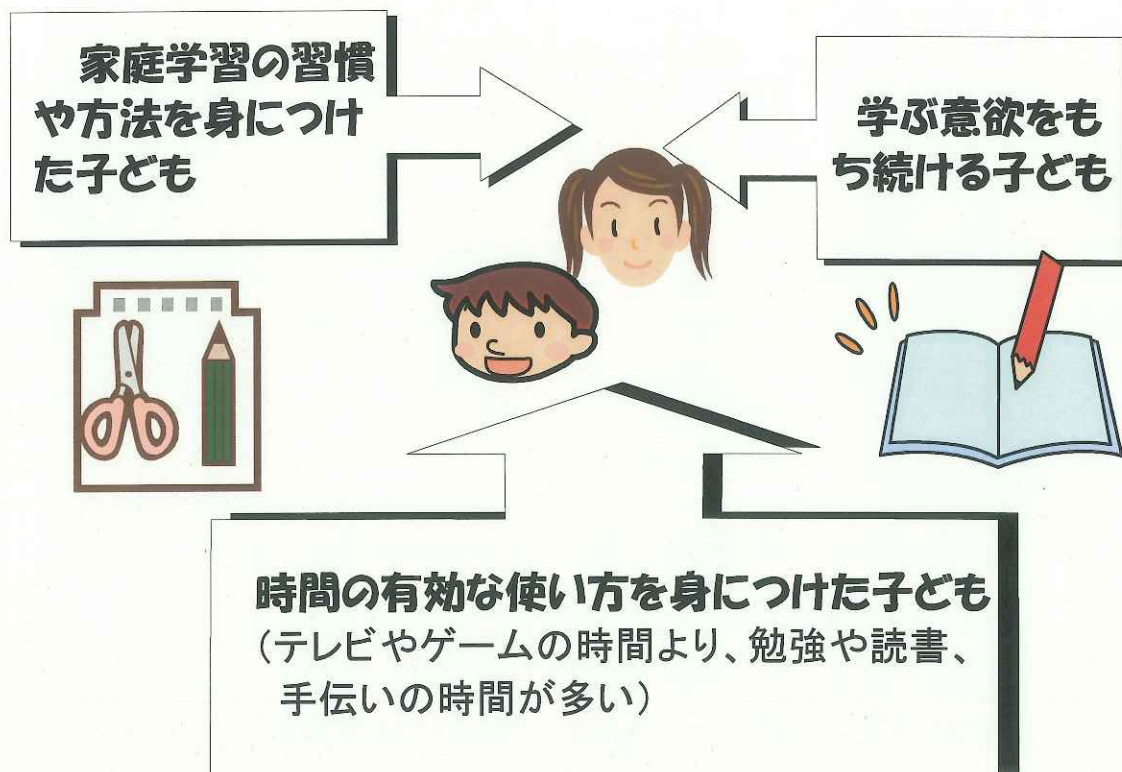
【おうちの方へ】

1 『家庭学習のすすめ』 についての考え方

毎日の学習は、将来子どもたちが**社会人として自立するための基礎**となる大切なものです。学校でも**学習内容が定着するように**日々努力していますが、**家庭と連携**することで、より**確かな学力が定着**するものと考えます。そこで、『家庭学習のすすめ』を作成しました。

保護者の皆様には、子どもたちと一緒にご覧いただき、ご理解とご協力をお願い致します。

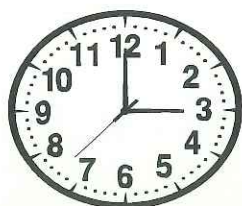
2 『家庭学習のすすめ』を通して育てたい 子どもの姿



3 家庭学習習慣化のポイント

基本的な生活習慣を身につけさせましょう

- ☆早寝・早起き・朝ごはん
- ☆時間を守る
- ☆気持ちの良い あいさつ・返事
- ☆くつのせいとん
- ☆正しい言葉遣い



学習環境を整えましょう

- ☆決まった場所で
- ☆一定の時間を
- ☆テレビを消して



がんばりを認め励ましましょう

【こんな言葉かけはいかがでしょう】

ていねいに
書けたね。

前より上手に
なったね。

よく考えて
いるね。

子どもがやる気になる魔法の言葉を
かけましょう。

この問題が
解けるのはすご
いね。

よく調べられたね。
もっと教えて。

集中してが
んばったね。

埼玉県東部教育事務所のホームページにも家庭学習の参考資料があります。

<http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/s23/>

じどうせいと
【児童生徒のみなさんへ】

さあ、勉強！でもその前に……。
家での生活をふりかえりましょう



※できたら☆に色をぬりましょう。

☆
がくしゅうちゆう しせい
学習中の姿勢
はいいですか？

☆
おはしや
えんぴつを
ただしく持て
ますか？

☆
あさ
朝ごはんを
まいにちた
毎日食べて
いますか？

☆
けいたいでんわ
携帯電話を
つかうときのやくそく
決めていま
すか？

☆
まいにち どくしょ
毎日、読書
をしています
か？

☆
テレビやゲーム
をする時間
を決めていま
すか？

☆ すっきり
めざめられ
ますか？

☆
まえ ひ
前の日に
つぎ ひ じゅぎょう
次の日の授業
の用意をして
いますか？

いくつか色がぬれま
したか？
さて、この質問に
は、どんな意味が
あるでしょう。

じつ べんきょう
実は、勉強ができるようになるためのヒントがかく
されているのです。

ちようしよく た
朝食をきちんと食べ
る子どもの方がテストの
点が良い！

ちようしよく
朝食をめくと
落ち着きが
なくなる！

ほん よ
本をたくさん読むと
読む力や考える力が
つく！

じかん みじか
すいみん時間が短い
と覚える力が弱くなる！

やはり、
きそくただ せいかつ
規則正しい生活が
たいせつ
大切なんですね！

さらに、
がくりよく
学力アップのカギは、家庭
がくしゅう
学習にあります！

さて、あなたは、これまで、家庭
がくしゅう
学習にどのように取り組んできました
たか？

かてい がくしゅう さんこう
家庭学習のアドバイスを参考に、
じぶん あ べんきょうほうほう み
自分に合った勉強方法を見つけて
みましょう。



小学校 1・2年

基本的な学習習慣を身につける

1・2年生では…

「早寝早起き」「規則正しい食事」「朝の排便」など基本的な生活習慣を身につけることが学習習慣の定着に欠かせません。

家族の助けを借りながら、学校での学習を受け、学習内容や方法を決め、できたことをほめることによって興味・関心を引き出し、意欲を高めることができます。

学習時間のめやす

15～30分

学習の特徴

- 45分を1時間とした授業の中で、「読み・書き・計算」などの基礎的・基本的な内容を学習します。その中には、繰り返し練習することで力がつく学習内容がたくさんあります。
- 「正しい姿勢で座る」「鉛筆を正しく持つ」「明日の授業の準備をする」「身の回りの整理整頓をする」ことが、学習の基本になります。
- 生活と結びついた学習が多く、身近な物を使ったり、実際に体験したりする学習が中心になります。

家庭での援助

- 学習を始める前に、テレビなどを消しましょう。勉強をする場の整理整頓をしましょう。
- 学校からの連絡やお便り、明日の授業などを子どもと一緒に確かめることが大切です。
- 学習時間を決めて、家庭学習をするときは近くにいてあげましょう。
- まずは、毎日宿題を最後までやらせることを続けましょう。
- 一緒に買い物をしたり、時計をよんだりしながら、子どもの生活経験を増やしましょう。

家庭学習の内容

国語

(音読)

- 楽しみながら、大きな声で読めるようにしましょう。
- 句読点(「、」や「。」)に気をつけて、すらすら読めるように練習しましょう。
- 毎日続けて練習しましょう。

(漢字)

- 書き順や文字の形に気をつけて書きましょう。
- 正しい姿勢で、丁寧にゆっくり書きましょう。

(読書)

- 子どもの興味や関心、学年に応じた本をまわりに置きましょう。
- 読み聞かせをしてあげることも、大切なことです。



算数

- 計算力を向上させるためには、まずはゆっくり正確に計算できるように、正しい計算手順を確実に身につけましょう。
- 正しく計算できるようになったら、徐々に早くできるように練習しましょう。
- 間違った問題は必ず見直し、もう一度やり直すことが重要です。



そのほか

- 音楽の鍵盤ハーモニカを練習したり、生活科で動植物の観察をしたりすることも、大切なことです。
- 楽しかったことやうれしかったことを、自分の言葉で絵日記や日記に書くこともすすめてください。
- 家庭での援助として、音読を聞いてやり、感想を言ってあげることも大切なことです。

おうちでの約束

こんなべんきょうをしよう

【じどうよう】

(1ねんせい)

1 はじめに しゅくだいを します。
(おわったら おうちの ひとに みて もらいましょう)

2 つづいて つぎのような べんきょうを しましょう。

【こくご】

おすすめ	べんきょうの しかた
1 きょうかしょを よむ。	○きょうかしょの いま べんきょう しているところを 3かい よみます。
2 ひらがな・カタカナを かく。	○ならった じを かきじゅんに きをつけて かきます。
3 かんじを おぼえる。	【ドリルを つかって】 ①かんじの ところを 3かい よみます。 ②ひらがなの ところを みて ノートに かんじに なおして かきます。 ③もういちど かんじの ところを みて まるつけを します。 ④まちがえていた じは ノートに 3かい かきます。



☆ 1～3がおわったらつぎにチャレンジ！

○ にっきを かく。	○いつ・どこで・だれと・なにをしたか を かきます。 ○ならった ことばや カタカナ・かんじを つかって かきます。 ○おもった ことも かきます。
○ どくしょを する。	○いろいろな ほんを よみます。としょかんで かりても いいですね。

【さんすう】

1 きょうかしょの もんだいをする。	①がっこうで べんきょう した ところを もう いちど ノートに やってみます。 ②さんすうの ノートを みて まるつけを します。 ③まちがえた ときは もういちど やります。
2 けいさんの れんしゅうを する。	【ドリルを つかって】 ①ばんごうを かき もんだいを ノートに うつして かきます。 ②しきや こたえを かきます。 ③こたえを みて まるつけを します。 ④まちがえて いた ところは おうちの ひとに きいて かきなおします。




こなべんきょうをしよう

(2年生)

- 1 はじめに しゅくだいを します。
(おわったら おうちの 人に 見て もらいましょう)
- 2 つづいて つぎのような べんきょうを しましょう。


【こくご】

おすすめ	べんきょうの しかた
1 きょうかしょを よむ。	○きょうかしょの いま べんきょう しているところを 3かい よみます。
2 かん字を おぼえる。 	【ドリルを つかって】 ①かん字の ところを 3かい よみます。 ②ひらがなの ところを 見て ノートに かん字に なおして かきます。 ③もう一ど かんじの ところを 見て まるつけを します。 ④まちがえていた 字は ノートに 3かい かきます。 ○ならった かんじを つかって みじかい 文をつくり ノートに かきます。

☆ 1～2がおわったらつぎにチャレンジ！

○ ^{にっ} 日きを かく。	○いつ・どこで・だれと・なにをしたか を かきます。 ○ならった ことばや カタカナ・かん字を つかって かきます。 ○おもった ことも かきます。 ○かいわを 「 」をつかって かきます。
○ どくしょを する。	○いろいろな 本を よみます。としょかんで かりても いいですね。

【さんすう】

1 きょうかしょの もんだいをする。	①学校で べんきょう した ところを もう一ど ノートに やってみます。 ②さんすうの ノートを見て まるつけを します。 ③まちがえた ときは もう一ど やります。
2 けいさんの れんしゅうを する。 	【ドリルを つかって】 ①ばんごうを かき もんだいを ノートに うつして かきます。 ②しきや こたえを かきます。 ③こたえを 見て まるつけを します。 ④まちがえて いた ところは おうちの 人に きいて かきなおします。



家庭学習ノートのれい

れんしゅうしているかんじをつかって

ぶん文などをか書いてみましょう。

ひ日づけをか書きます。

【こくご】

4 / 1 5

							二	二	一	一	一		
							つ	ま	一	一	一		
							の	い	一	一		一	
							い	の	一	一		一	
							ち	か	一	一			
							ご	み	一	一			
							。	。	一	一			
									一	一			

に
・
ふた
(つ)

かたよみ方を
書きます。

か書きじゆんを
書きます。

せんでくぎってわくを
か書きましょう。

【さんすう】

ひ
日づけとページも
か
書きます。



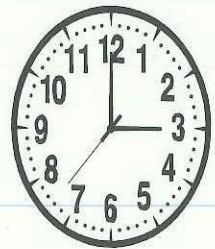
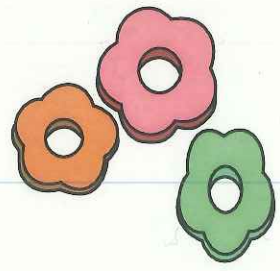
けいさんをはやく
せいかくにできるよう
にしましょう。

4 15	①	8	+	3	=	1	1									
P3			2		1		1	0	+	1	=	1	1			
	②	7	+	6	=	1	3									
	○	○	○	○	○	○	○			7	+	3	=	1	0	
	○	○	○	○	○	○				1	0	+	3	=	1	3

じぶん
自分のかんがえかたを^ず図や^え絵であらわしたり、
ことば
言葉で^か書きましょう。

	も	ん	だ	い											
	お	は	じ	き	が	9	こ	あ	り	ま	す	。	5	こ	
	ふ	え	る	と	な	ん	こ	に	な	り	ま	す	か	。	
	し	き		9	+	5	=	1	4						
	こ	た	え		1	4	こ								

じぶん
自分でもんだいをつくるのも
いいですね。



小学校 3・4年

自主的な学習習慣を身につける

3・4年生では…

自立心が芽生えてくるとともに、自分でやろうとすることが多くなり、「やる気」や「根気」が育つ時期です。語彙(言葉)の獲得能力が高くなり、抽象的な思考ができるようになると言われてしています。

「急に勉強が難しくなった」という戸惑いや、苦手意識をもつ子どもも出てきます。自信をもたせたり、意欲をふくらませたりするような励ましが大切です。

学習時間のめやす

30~60分

学習の特徴

- 総合的な学習の時間や社会、理科の学習が始まり、学習する内容も大きく広がります。
- 国語辞典や漢字辞典、地図帳などの使い方を学び、自分で調べる学習をすることが多くなり、自学自習の基礎を学びます。
- 算数では、四則演算(+・-・×・÷)の基礎・基本を徹底して学ぶとともに、分数や小数など少しずつ抽象的な内容も学ぶようになります。

家庭での援助

- 家庭の温かい助言や励ましの言葉でやる気を起こしたり、宿題や持ち物を点検したりするなどの手助けが必要です。徐々に自分でできるように支援していきましょう。
- 自分から机に向かう姿勢を育て、集中して取り組む習慣をつけさせることが重要です。
- 学習をする前に、学習する場所の整理整頓を行い、自分で今日の宿題を確認させ、必ず最後までやらせましょう。学校からのお便りなどを親に手渡す習慣をつけましょう。
- 社会や理科で学習する地域社会の文化や産業、自然などに触れる体験をさせましょう。

家庭学習の内容

国語

(音読)

- 毎日音読をする習慣を身につけましょう。
- 文章を正確に読むことができるようにしましょう。

(漢字)

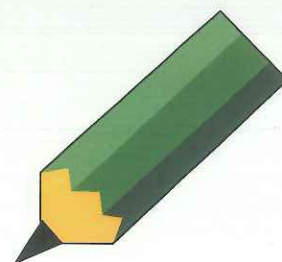
- 正しい書き順で、正確に文字が書けるようにしましょう。
- とめ、はね、はらいに気をつけて、丁寧に繰り返し練習しましょう。

(言葉)

- 国語辞典や漢字辞典を手元に置き、使い方に慣れるようにしましょう。

(読書)

- いろいろな種類の本を選んで、読むようにしましょう。



算数

- かけ算やわり算など、正しい計算手順が身につくよう、毎日練習しましょう。
- 三角定規や分度器、コンパスなどが正確に操作できるように、繰り返し練習しましょう。



その他

- 音楽のリコーダーで習った曲の練習をしましょう。
- 社会や理科で勉強する地域社会の文化や産業、自然に触れる体験をしましょう。
- 学校で学習した内容を振り返り、自分の苦手なところや、計算や漢字の練習をしてみましょう。

おうちでの約束

こんなべんきょうをしよう

【じどう用】


(3・4年生)

1 はじめに宿題をします。


(わからないところは、お家の人や先生に教えてもらいましょう。)

2 つづいて、次のような学習をしましょう。

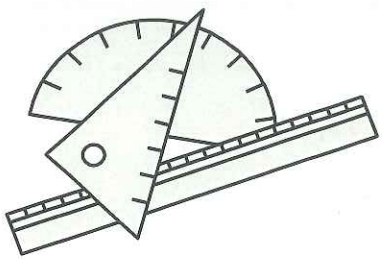
【国語】

おすすめ	学習の仕方
1 教科書を読む。	○今、学習しているところを、3回読みます。
2 漢字を練習する。 	【ドリルを使って】 ①漢字のところを、3回読みます。 ②ひらがなのところを見て、ノートに漢字に直して書きます。 ③もう一度漢字のところを見て、答え合わせをします。 ④まちがえていた字は、ノートに3回書きます。 ○習った漢字を使って短文を作り、ノートに書きます。 ○部首や画数を調べて、ノートに書きます。
3 意味調べをする。	①語句をうつします。 ②じてんで意味を調べます。 ③れい文をうつします。 ④調べた語句を使って短文を作り、ノートに書きます。


☆ 1～3がおわったら次にチャレンジ！

○ 大事なことをまとめる。	○学習したことの中で大事なことを、自分なりにノートの工夫してまとめてみます。
○ 視写をする。	○教科書の文を、ていねいにノートにうつします。 ※(、)や(。)、(「 」)、マスの使い方に気をつけてうつします。
○ 日記を書く。 	○題や月日を書きます。 ○できごとや気持ちを、わかりやすく書きます。 ○習った漢字や語句を使って書きます。 ○会話の「 」や、だんらくに気をつけて書きます。
○ 読書をする。	○いろいろな本を読みます。図書館でかりてもいいですね。


【算数】

<p>1 ふく習をする。</p>	<p>①学校で学習した問題^{もんだい}を、もう一度ノートにやってみます。 ※文章問題^{ぶんしょう}は、問題文をうつします。 ②算数ノートを見て、答え合わせをします。 ③まちがえたときは、もう一度やってみます。</p>
<p>2 計算の練習をする。</p> 	<p>【ドリルを使って】 ①番号を書き、問題をノートにうつして書きます。 ②式や答えを書きます。(ひっ算も書きます。) ③答え合わせをします。 ④まちがえていた問題は、お家の人や先生に聞いて書き直します。 ○時間を計^{はか}って、記ろくしていきます。</p>
<p>3 予習をする。</p>	<p>○次に学習するところを読みます。</p>

【社会】

<p>1 ふく習をする。</p>	<p>①学校で学習したところを、もう一度自分なりにノートに工夫してまとめてみます。 ②社会のノートを見て、まとめたことがまちがっていないかたしかめます。</p>
<p>2 予習^{よしゅう}をする。</p>	<p>①次に学習するところを読みます。 ②わからなかったところを、チェックしておきます。</p>
<p>○ 調べ学習^{かんけい}をする。</p> 	<p>○学習したことと関係のあることについて、本やインターネットなどで調べて書きます。 ○じっさいにその場所に行って見学したり、インタビューしたりしたことをまとめて書きます。 ○調べた感^{かん}そうやぎもんなども書きます。</p>

【理科】

<p>1 ふく習をする。</p>	<p>①学校で学習したところを、もう一度自分なりにノートに工夫してまとめてみます。 ②理科のノートを見て、まとめたことがまちがっていないか確かめます。</p>
<p>2 予習をする。</p>	<p>①次に学習するところを読みます。 ②わからなかったところを、チェックしておきます。</p>
<p>○ 調べ学習^{かん}をする。</p> 	<p>○学習したことと関係のあることについて、図かんや本、インターネットなどで調べて書きます。 ○学習したことと関係のある実けんやかんさつをして、けっかや記ろくを書きます。 ○調べた感^{かん}そうやぎもんなども書きます。</p>

小学校 5・6年

自学自習の習慣を身につける

5・6年生では…

生活リズムの乱れは、学習習慣にも影響を及ぼします。もう一度生活習慣を見直し、計画的に学習を進めることが重要です。

学習に対する意欲や興味・関心を高めるために、先生や家族の言葉かけが大切になります。目標を決めて努力できるように、温かく見守りながら励ましましょう。

学習時間のめやす

50～90分

学習の特徴

- 学習内容が多くなり、論理的な内容や抽象的な思考を伴う学習が増えます。
- 筋道を立てて考える力や、広い視野で物事を見る力が必要になります。
- 家庭科の学習が始まり、衣食住の基礎・基本を学びます。
- 自ら学ぶことのおもしろさや楽しさを経験することで、ものの見方や考え方を身につけることができます。

家庭での援助

- 「やればできる」という気持ちを持たせ、子どもの自己肯定感を育てるように、ほめたり励ましたりすることが大切です。
- 家族の一員として、お手伝いや役割を決め、家庭科などで学習した内容を生活の中で実践したり、生かしたりすることができるようにしましょう。
- 学習する場所を決め、整理整頓し、計画を立てて学習が進められるようにしましょう。

家庭学習の内容

国語

(音読)

○情景を思い浮かべながら、感情を込めて読むなど、自分のめあてを決めて練習をしましょう。

○詩や俳句などを暗唱したり、朗読したりしてみましょう。

(漢字)

○漢字の構成や字形を意識して、練習しましょう。

○短文作りにも取り組みましょう。

(言葉)

○国語辞典や漢字辞典を手元に置き、積極的に使いましょう。

(読書)

○いろいろな種類の本を選んで、読むように心がけましょう。



算数

○計算力を向上させるために、よく間違える計算は繰り返し練習しましょう。

○答えの確かめを、自分でできるようにしましょう。

その他

○学校での学習内容を繰り返しながら、教科書やノート、プリントなどを参考にして、自主的に勉強したり、苦手な内容に取り組んだりしましょう。

○日記や感想文など、文章を書く機会を増やしましょう。

○理科で星の観察をしたり、社会で学習する生産物について調べたりするなど、調べ学習を行いましょ。

○その他の教科でも、学習した内容を家庭生活の中で実践したり、生活の中に活かしたりできるようにしましょう。

おうちでの約束

こんなべんきょうをしよう

【児童用】

(5・6年生)

1 はじめに宿題をします。

(わからないところは、お家の人や先生に教えてもらいましょう。)

2 続いて、次のような学習をしましょう。

【国語】

おすすめ	学習の仕方
1 教科書を読む。	○今、学習しているところを、3回読みます。
2 漢字を練習する。	【ドリルを使って】 ①漢字のところを、3回読みます。 ②ひらがなのところを見て、ノートに漢字に直して書きます。 ③もう一度漢字のところを見て、答え合わせをします。 ④まちがえていた字は、ノートに3回書きます。 ○漢字を使った熟語を調べて書きます。 ○習った漢字を使って短文を作り、ノートに書きます。 ○部首や画数を調べて、ノートに書きます。
3 意味調べをする。	①語句を写します。 ②辞典で意味を調べます。 ③例文を写します。 ④調べた語句を使って短文を作り、ノートに書きます。

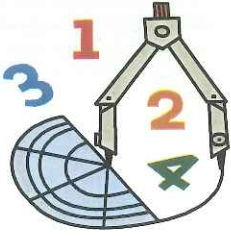


☆ 1～3がおわったら次にチャレンジ！


○ 大事なことをまとめる。	○学習したことの中で大事なことを、自分なりにノートに工夫してまとめてみます。
○ 視写をする。	○教科書の文を、ていねいにノートに写します。 ※(、)や(。)、(「 」)、マスの使い方に気をつけて写します。
○ 日記を書く。	○題や月日を書きます。 ○できごとや気持ちを、わかりやすく書きます。 ○習った漢字や語句を使って書きます。 ○会話の「 」や、段落に気をつけて書きます。
○ 読書をする。	○いろいろな本を読みます。図書館でかりてもいいですね。読んだ感想も書きます。




【算数】

<p>1 復習をする。</p>	<p>①学校で学習した問題を、もう一度ノートにやってみます。※文章問題は、問題文を写します。 ②算数ノートを見て、答え合わせをします。 ③まちがえたときは、もう一度やってみます。</p>
<p>2 計算の練習をする。</p> 	<p>【ドリルを使って】 ①番号を書き、問題をノートに写して書きます。 ②式や答えを書きます。(筆算も書きます。) ③答え合わせをします。 ④まちがえていた問題は、お家の人や先生に聞いて書き直します。 ○時間を計って、記録していきます。</p>
<p>3 予習をする。</p>	<p>①次に学習するところを読み、解いてみます。 ②わからなかったところを、チェックしておきます。</p>

【社会】

<p>1 復習をする。</p> 	<p>①学校で学習したところを、もう一度自分なりにノートに工夫してまとめてみます。 ②図やグラフなどの資料からわかることを書きます。 ③社会のノートを見て、まとめたことがまちがっていないか確かめます。</p>
<p>2 予習をする。</p>	<p>①次に学習するところを読みます。 ②図やグラフなどの資料からわかることを書きます。 ③わからなかったところを、チェックしておきます。</p>
<p>○ 調べ学習をする。</p>	<p>○学習したことと関係のあることについて、本やインターネットなどで調べて書きます。 ○調べた感想や疑問なども書きます。</p>

【理科】

<p>1 復習をする。</p>	<p>①学校で学習したところを、もう一度自分なりにノートに工夫してまとめてみます。 ②理科のノートを見て、まとめたことがまちがっていないか確かめます。</p>
<p>2 予習をする。</p>	<p>①次に学習するところを読みます。 ②わからなかったところを、チェックしておきます。</p>
<p>○ 調べ学習をする。</p> 	<p>○学習したことと関係のあることについて、図かんや本、インターネットなどで調べて書きます。 ○学習したことと関係のある実験や観察をして、結果や記録を書きます。 ○調べた感想や疑問なども書きます。</p>

中学校 1～3年

自分に合った学び方を身につける

中学生では…

自主的に家庭学習に取り組める子どもと、そうでない子どもの差が広がり、学力差も大きくなります。

苦手な教科を作らないように、日々の予習・復習が大切になります。

時間をうまく活用して、家庭学習が計画的にできるように励ましましょう。

学習時間のめやす

60分～

学習の特徴

- 学習内容が多様になり、自ら課題を見つけ解決する力が必要になります。
- 筋道を立てて考える力や、広い視野で物事を見る力がさらに必要になります。
- 新しく学習したことを覚えるだけでなく、生活に関連づけて自分の考えを言えることが必要になります。
- 自分の特性を理解してくるとともに、得意な教科・苦手な教科がはっきりとしてきます。

家庭での援助

- 定期テストの前だけに目を向けるのではなく、毎日、家庭学習に取り組めるようにしましょう。
- 新聞やニュース、読んだ本などの話題について、家族で意見交換してみましょう。
- 学習する場所を決め、整理整頓し、計画を立てて学習が進められるようにしましょう。
- 子どもの自己肯定感を育てるように、ほめたり、励ましたりすることが大切です。子どもの伸びを見逃さずほめるようにしましょう。

こんな勉強をしよう

【生徒用】

【国語】

基本型

<すらすら読めるまで声に出して読む>

授業で学習している文章を、毎日声に出して読みましょう。毎日音読することで読めない漢字に気づきます。また、内容が頭に浮かぶようになります。

音読は、文章を理解するための第一歩です。

<漢字は書いて覚える>

見て覚えるより、書いて覚える方が漢字を忘れません。特に「へん」や「つくり」の意味を考えながら書くと、記憶しやすいです。漢字を1行以上、何度も書いて覚えましょう。1日平均で5～10個の漢字を正しく書いて覚えましょう。

<分からない言葉はすぐ辞書で>

分からない言葉がでてきたらすぐに辞書で意味を調べましょう。意味が分かれば文章の内容は理解できます。国語辞典や漢字辞典で調べると分かる言葉が多くなり、国語の力がレベルアップします。

発展型

授業で学習した作者について調べたり、他の著書を読むのもよいでしょう。

また、主人公や登場人物の生き方に対する、自分の考えをまとめるのもよいでしょう。

同じ「へん」や「つくり」の漢字、あるいは同じ音や訓の漢字、同じ漢字が含まれる熟語やことわざを探すのもよい学習です。漢字検定等に挑戦することは目標ができて取り組みが意欲的になります。

国語の教科書だけでなく、読書で読んでいる本、新聞、ニュースなどでも、分からない言葉がでてきたら、ぜひ調べてみましょう。見えない力がつきます。

【Q&Aコーナー】

Q：問題で書かれている内容が難しくて理解できない。

A：問題を読んでも「問題の意味が理解できない」という場合がありますが実際には、「問題で書かれている内容が難しい」というものは意外と少ないのです。

よく「問題を読んだ」と言いますが、これは、「問題を見た」というだけで「問題を読んだつもり」になっているのです。

「目」だけを使って「頭」や「体」を使わなければ「つもり」で終わってしまいます。『書く』ことで「体」を使って、『声に出して読む』ことで「頭」を使って理解することにつながります。

こんな勉強をしよう

【社会】

基本型

<復習に重点を置いて、書いて覚える>

教科書をしっかり読み、ノートを見直して学習のポイントを確認します。重要語句や人物の名は漢字で書けるように書いて覚えましょう。地理だけでなく、歴史でも地図帳を活用し、地名を指で押さえると確認が深まります。

<学習した内容を詳しく調べる>

地理、歴史、公民の学習内容はお互いに関係しています。「なぜ?」「どういうこと?」という疑問をもって調べると、楽しい学習になります。図書館の本やインターネットなどを活用して調べることは、情報を集める力をつけられます。

<学習したことを社会の動きと関連づける>

社会科は、まさしく社会の動き、人間の生活を扱う教科です。新聞を読むこと、テレビでニュースを見ることで、社会科の学習が好きになります。教科書や地図帳、資料集で関係するところから探すのも楽しいことです。

発展型

地図をえがく、グラフで表す、資料を読み取ることは、学習内容を深めることができます。

歴史では時代の流れや特徴をつかむため、年表づくりや時代ごとのまとめも有効です。

社会の出来事は『いつ・どこで・だれが・何を・どのように・なぜ』でまとめると深い見方ができます。また、もしも、自分が関係する人物だったら、どのように行動するか想像するのもよい方法です。

新聞記事をテーマに合わせて切り抜き、ノートに貼るスクラップをしてみましょう。感想や意見を加えると、物事を深く見つめる力、考える力がつきます。

【Q&Aコーナー】

Q：社会は暗記ばかりでつまらない。歴史は今の生活に関係ないのでは。

A：過去の人々はよりよい生活や社会をつくるために努力をしてきました。さまざまな歴史の結果が、現在の日本、世界を形作っています。歴史を知ることが、これからの社会づくりを考えるうえでとても重要なことです。主な用語や人物、できごとなどを覚えなければ、社会を理解することはできませんし、社会について考える手がかりもなくなります。いくつかのものごとを関連づけたり、地域や時代で特徴をまとめたり工夫すると覚えやすくなります。また、様々なできごとや人物について調べたり、自分の考えや意見、疑問をもって学習したり、毎日のニュースや旅行などに生かしたりすると楽しくなります。

こんな勉強をしよう

【数学】

基本型

<教科書の例題を理解する>

教科書の例題は、解き方や考え方の基本が示してあります。式の意味、計算のしかたや流れをしっかりと理解しましょう。もう一度、例題を自分の力で解いて、自分のものにします。そのうえで、練習問題に挑戦しましょう。

<復習して何回もくり返して練習する>

授業で学習した内容を身につけるには、ワークや教科書の問題を何回もくり返し復習することが大切です。問題の解き方は、教科書や問題集に直接書きこまず、ノートに書きます。そして分かるまで何度もやります。

<公式を使えるようにする>

数学の公式や定理は覚えるだけではだめです。問題に合わせて使えるようにしなくてはなりません。公式や定理にある文字や言葉が何を表していて、どのようなときに使えるのか覚えるようにしましょう。丸暗記するだけでなく、使って覚えるようにしましょう。

発展型

応用問題が解けないという人は、ワークや問題集などにあるいろいろな問題を数多く解き、様々な形で出される問題に慣れることです。

内容に応じた解き方を身につけることも大切です。例えば関数では、グラフや表を書き、関数の式をまとめる練習も大切です。証明問題は、例題を見て、内容やしくみを考えます。関数と図形の混ざった総合問題にも挑戦していきましょう。

自分で問題集を購入する場合「ちょっと簡単」くらいの問題集がいいです。また、力に応じて基本問題、応用問題、発展問題に分かれているものが使いやすいと思います。さらに、数学検定等にも積極的に挑戦しましょう。

【Q&Aコーナー】

Q：数学は＋、－、×、÷ができれば十分で、普段の生活でxやyなどの方程式は使わないのでは

A：生活していくうえで、物事を論理的に考える力がとても大切です。計算だけではその力はつきません。文章問題や図形問題などを解くことで、論理的に考える力がつきます。また、物事に共通することを探ったり、正しいと思われることを求めたり、ムダをはぶいて一つにまとめたり、よりよい解決方法をうみ出す力も数学ではみがかれます。

さらに、普段の生活で応用すると数学で学んだことが生きてきます。たとえば、家や学校、公園の建物、道具、花だんなどにさまざまな図形の考えが生かされていますので、実際に探してみると楽しくなります。

こんな勉強をしよう

【理科】

基本型	発展型
<p><教科書とノートの見直し> 教科書とノートには、学習のポイントが満載。教科書・ノートの見直しによって、授業で学習した事柄が身につきます。授業内容を確認しながら、要点をまとめると理解が深まります。さらにワークで練習問題をしましょう。</p>	<p>教科書の文章や図などを整理して要点をまとめましょう。ワークは、学習したことを問題にあてはめて考える力をつけたり、重要事項を覚えたりすることに効果的です。</p>
<p><実験のまとめをきちんと行う> 授業で行った実験について、「どのような方法、手順で行うか」「結果から何が言えるか」を自分なりにまとめましょう。「目的と方法」「結果と考察」をそれぞれ関連づけることで、学習内容を一つのまとまりとして理解できます。</p>	<p>実験の手順や器具の操作方法、実験上の注意事項などを図を使ってまとめるとわかりやすくなります。結果をグラフに表すなどのデータ処理をすると「考察」が深められます。</p>
<p><学習したことを身の回りの自然や生活と関連づける> 身の回りの自然と生活には理科にかかわる学習の素材があふれています。たとえば、地域の動植物を観察していると、自然の規則性に驚くことがあります。理科の学習の楽しさが分かり、学習内容が身につき、深められます。</p>	<p>図書館の本やインターネットを活用して、ふだんの生活で疑問に思ったことについて調べてみましょう。また、観察したことを記録し、図表でまとめましょう。科学研究発表などに参加しましょう。</p>

【Q&Aコーナー】

Q：植物に興味がない。自然の法則を知ることが必要なかわからない。

A： 私たち人間も自然の一員です。自然とも密接にかかわって私たちは生きています。たとえば、植物について学ぶことで、自然の規則性や巧みさを知ることができます。また、自然に対する豊かな感性を身につけることにもつながります。日本の進んだ科学技術は、「もの」と「もの」との間に働く物理や化学の法則、自然の法則を知り活用して産み出されたものです。環境問題や食糧問題など、私たちが抱える様々な問題は、自然のしくみを理解してはじめて解決できます。

このように理科の学習は、私たちの生活と密接に関係しています。生活と理科の学習を関連させて学びましょう。

こんな勉強をしよう

【英語】

基本型

<声に出してよむ>

教科書を声に出して読む練習を毎日少なくとも3回以上はやりましょう。家でも発音できるように、授業中の先生の発音をしっかりと聞いて、正確に発音できるようにします。「習ったその日に音読」が大切です。

<書いて覚える>

教科書の単語や英文をゆっくり発音しながら、ていねいに書き写します。単語ならノート1行、英文なら5回くらい書くことよいでしょう。覚えるまでくり返し書くことが大切です。時間をおいて復習し、書けなかったものを中心にくり返し練習しましょう。

<基本文をマスターする>

基本文とは、教科書にのっている重要な英文です。基本文を覚え、文を見て「読める」、文の「意味が分かる」、文が「書ける」ようにします。授業のノートやワーク、教科書を使って復習しましょう。

発展型

音読によってリスニング（聞く）力も伸びます。リスニングのCDなども活用しましょう。ラジオやテレビの語学番組を視聴するのもリスニング力をアップさせます。

予習で英単語の意味や発音を辞書で調べ、単語帳やカード、ノートに書いておくと、あとで使えます。ノートの左ページに英文、右ページに日本語を書き、日本語を見て英文を書く練習をすると力がつきます。

英語検定等に挑戦し、目標をもって学習に取り組みましょう。英語を使って日記や手紙を書くことも力がつきます。家族や友人に英語を使って会話することをやってみましょう。

【Q&Aコーナー】

Q：普段の生活では英語を使わない。英単語の暗記はつまらない。

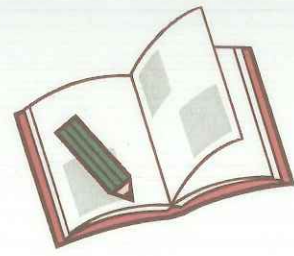
A：英語は私たちが世界と出会うための「窓」です。今後日本の国内においても国際化がいっそう進み、仕事でも観光でもますます外国の方との交流が増えます。日本語だけでなく英語の出番です。

英語の学習を通して外国の文化にふれることができます。海外旅行に行けば、私たちは世界の共通語・英語を使わざるをえません。また、インターネットなどでパソコンを使用する場合、音楽番組や外国の映画を視聴する場合、ひんぱんに英語が登場します。最低限の英語の力を身につける必要があるでしょう。

英語を使って外国の方と会話できれば、新しい世界が広がるでしょう。



チェック表^{ひょう}



なまえ

がっ 月 / ひ 日 (曜)	おうちの人の サイン	先生の サイン
/ ()		
/ ()		
/ ()		
/ ()		
/ ()		
/ ()		
/ ()		
/ ()		
/ ()		
/ ()		
/ ()		
/ ()		
/ ()		
/ ()		